

「第3期」富山市まち・ひと・しごと総合戦略の策定について

- 1 本市の現状・課題の整理
- 2 「第3期」富山市まち・ひと・しごと総合戦略の方向性
- 3 「第3期」富山市まち・ひと・しごと総合戦略の骨子(案)

1 【本市の現状・課題の整理】(1) 人口の加速度的減少、若年女性の転出超【ひと】

【現状・課題】

婚姻数・出生数の減少により、人口減少が加速的に進む状況となっており、社会動態は上昇傾向がみられるものの、若年女性の転出超過が続いており、人口減少に拍車をかける要因となっている。

少子・超高齢化の進行により高齢者単独世帯が増加しており、これまで家族で支え合っていた「自助」による暮らしが難しくなっている。

また、暮らしを支える所得については、近年の物価上昇を補うほどの賃上げに至っておらず大都市との格差が拡大しており、若年世代の更なる流出が懸念される。

【現状を示す主な指標】

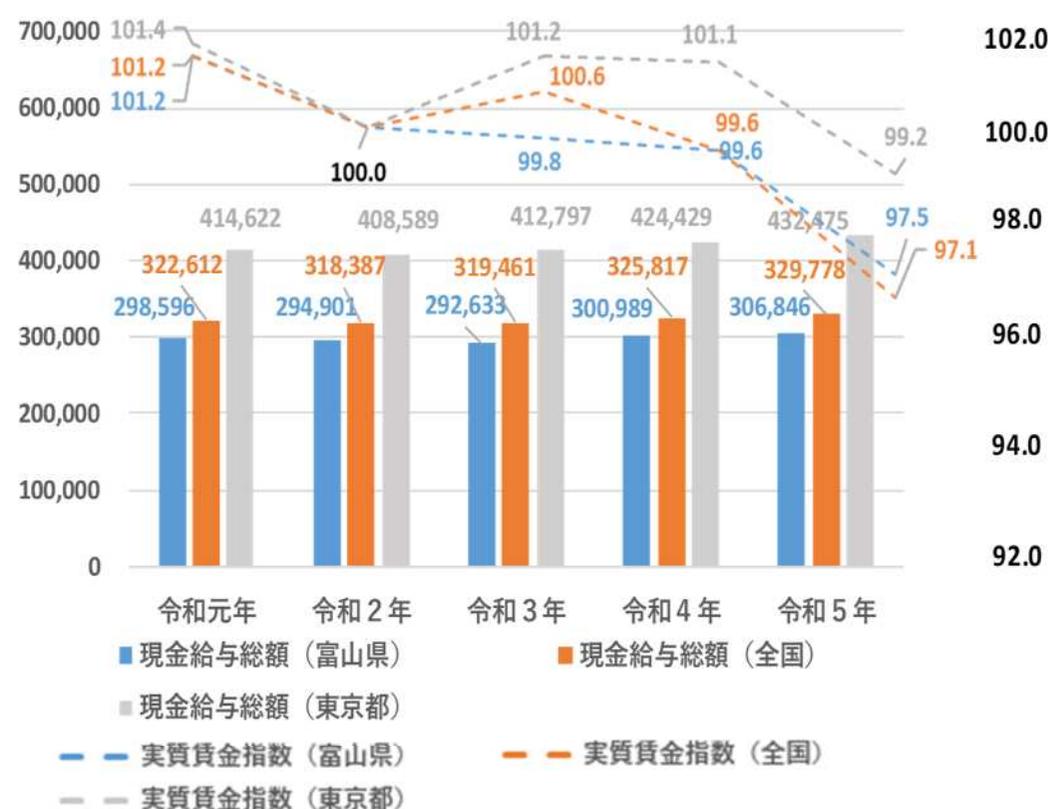
① (市) 婚姻数・出生数 [厚生労働省 人口動態統計]

	平成17年	令和4年	低下率 (R4/H17)
婚姻数	2,282件	1,637件	71.7%
出生数	3,605人	2,617人	72.6%

② 若年女性の転出超過 [富山県 富山県人口移動調査] (富山県・市町村別、年齢(5歳階級)別男女別 転入転出者数-日本人) 人口の社会増減、平成27年10月1日～令和5年9月30日の7年間の平均

	計	15～34歳
男性	184人	68人
女性	▲52人	▲136人
計	132人	▲68人

③ 実質賃金の低下(大都市との格差) [厚生労働省 毎月勤労統計調査]



1 【本市の現状・課題の整理】(2) 地域コミュニティの衰退、人材不足による「稼ぐ力」の低下【しごと】

【現状・課題】

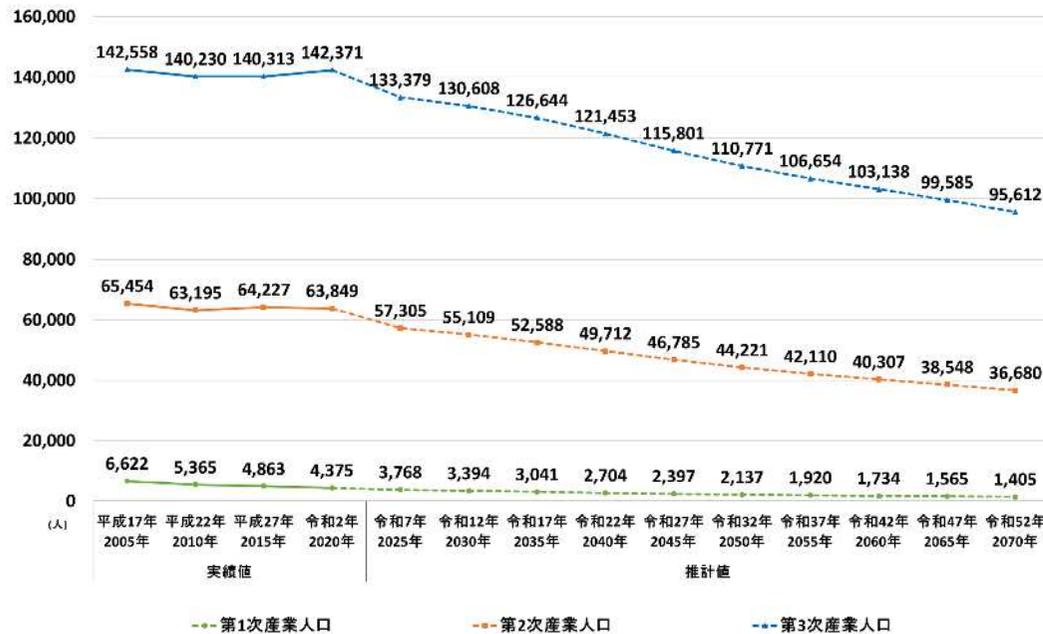
核家族化、地域活動への参加意欲の低下、町内会等の担い手不足などにより、「共助」による地域コミュニティの維持が困難になっている。
また、企業活動においては、生産年齢人口の一層の減少が見込まれる中、人材不足により地域経済の縮小が懸念され、本市の特徴である製造業の現場において、DXなどによる生産性の向上が必要不可欠となっている。

【現状を示す主な指標】

① 地域コミュニティの取組への参加について [市民意識調査(令和5年度)]

	39歳以下	40～59歳	60歳以上	計
参加している	21.4%	34.5%	47.4%	38.1%
参加していない	77.7%	64.0%	48.7%	59.2%

② 産業別就業人口推計 [富山市人口推計報告書(未定稿)]



③ 労働生産性等 [環境省 地域経済循環分析用データ]

	H22 (2010)	H27 (2015)	R2 (2020)
労働生産性 (単位：千円) (付加価値額/ 地域内従業者数)	7,992 (全国：8,480) 417/1,741市町村	8,703 (全国：9,132) 414/1,741市町村	8,966 (全国：9,352) 416/1,741市町村

※付加価値額＝利益＋人件費＋減価償却費

④ 都道府県別 現在のGDP水準維持に必要な労働生産性上昇率 試算結果 [日本政策投資銀行]

	労働投入量 減少試算	GDP 減少試算	必要な労働生産性 上昇率
富山県	▲1.7%	▲1.1%	1.7%
全国	▲1.2%	▲0.8%	1.3%
東京都	▲0.5%	▲0.3%	0.5%

※2022(R4)年度～2027(R9)年度・年平均値

1 【本市の現状・課題の整理】(3) 人口減少に適応する都市の再構築の必要性、地域間格差の拡大【まち】

【現状・課題】

気候変動に伴う自然災害の激甚化により、市民の命を守るための不断の取組の必要性が高まっている。

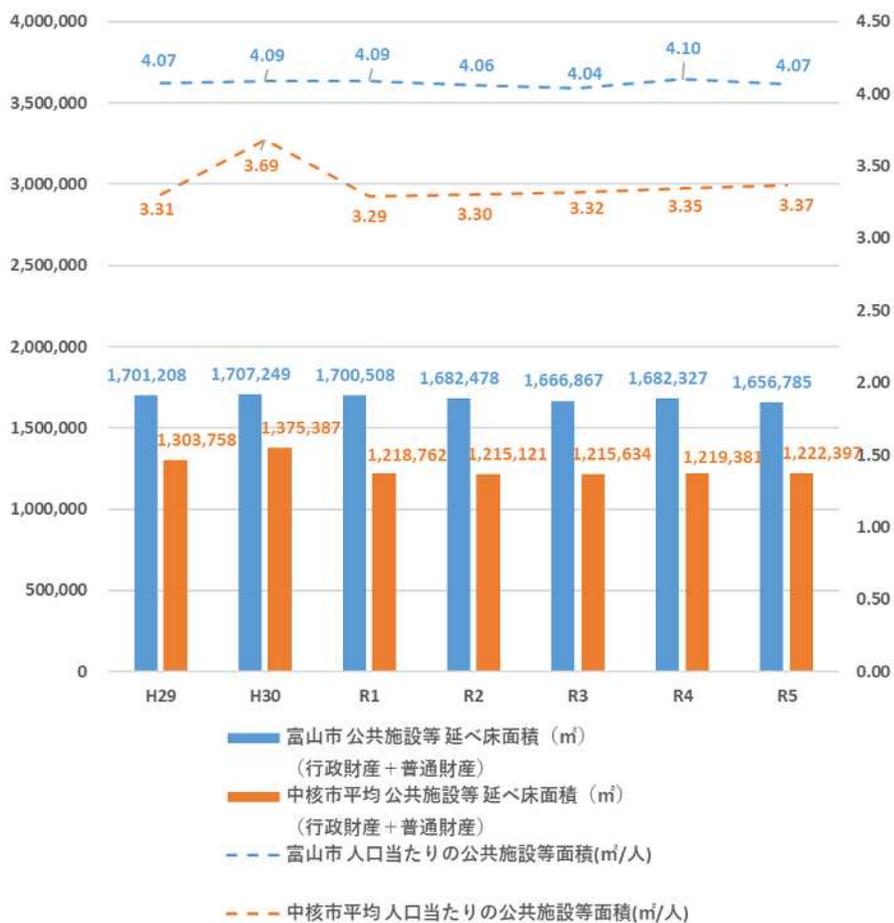
また、高度経済成長期以降に整備したインフラが急速に老朽化する中、都市の持続可能性を高めるため、公共施設・社会インフラの適正な維持管理が課題となっている。

さらには、「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」の果実を、中山間地域をはじめとする郊外部にも波及させることで、地域特性に応じた市域全体の均衡ある発展を目指す途上にあり、政策効果が地域住民に十分に伝わっておらず、地域間格差に対する不公平感が拡大している。

【現状を示す主な指標】

① 公共施設等の状況

〔中核市市長会 都市要覧(各年3月31日現在)〕



② 「交通体系の整備」に関する施策の満足度 [市民意識調査(令和5年度)]

	満足・ほぼ満足	不満・やや不満
まちなか	24.3%	24.4%
公共交通の沿線	16.0%	46.2%
上記以外の市街地	7.6%	55.0%
郊外や中山間地域	7.5%	63.8%

③ 「地域の生活拠点の整備」に関する施策の満足度 [市民意識調査(令和5年度)]

	満足・ほぼ満足	不満・やや不満
まちなか	15.3%	15.4%
公共交通の沿線	10.3%	26.4%
上記以外の市街地	5.1%	25.7%
郊外や中山間地域	4.5%	40.3%

④ 居住エリア別の交流機会の頻度の差異 [まちづくりに関するアンケート調査(令和6年度)]

	頻繁にある	たまにある	あまり(ほぼ)ない
まちなか	28.6%	39.6%	31.9%
公共交通の沿線	23.3%	37.8%	36.7%
上記以外の市街地	24.9%	33.8%	39.9%
郊外や中山間地域	23.9%	38.3%	35.8%

2 「第3期」富山市まち・ひと・しごと総合戦略の方向性

「第2期」(2020～2024年度の5年間)

人口ビジョン

富山市の人口推移

総人口は減少が続く傾向
2015年人口:418,686人

中長期的展望 (2015～2060年)

目指すべき将来の展望
2060年に人口34.5万人程度

出生率の更なる向上
富山市民の希望出生率1.88を目標

社会増の維持
近年、転入超過による社会増傾向

人口規模の確保
人口構造の改善

「第2期」総合戦略

基本目標1 産業活力の向上により、安定した雇用を創出する
～地方の中核を担う都市として躍動するまち～

基本的方向

- ア. 中小企業の振興及び既存産業の高付加価値化
- イ. 新産業の創出及び民間と協働した地域経営
- ウ. 農林水産業の成長産業化
- エ. サービス産業の活性化
- オ. 企業誘致の促進
- カ. 雇用のマッチングの強化
- キ. 企業に関する情報発信の充実
- ク. 大学・高等学校等との連携強化

基本目標2 交流・定住を促進し、富山市への新しい人の流れをつくる～選ばれるまち～

基本的方向

- ア. 地方移住の推進・関係人口の創出
- イ. 広域型観光の推進と外国人観光客の誘致
- ウ. 地域資源を活用したコンテンツづくり
- エ. 大学・高等学校等との連携強化(再掲)
- オ. シティプロモーションの推進
- カ. シビックプライドの醸成

基本目標3 生活環境の一層の充実を図る
～すべての世代が安心して暮らせるまち～

基本的方向

- ア. 子ども・子育て支援の充実
- イ. ワーク・ライフ・バランスの実現
- ウ. 総合的な生活支援サービスの提供
- エ. 健康都市の実現
- オ. 防災減災対策の推進
- カ. 歩きたくなるまちづくりの推進

基本目標4 持続可能な都市経営・まちづくりを推進する
～公共交通を軸としたコンパクトなまち～

基本的方向

- ア. 公共交通と中心市街地の活性化
- イ. 中心市街地と公共交通沿線居住推進地区への居住誘導
- ウ. 中山間地域等の地域生活拠点の形成
- エ. 既存施設のマネジメント強化
- オ. SDGs未来都市の推進
- カ. 連携中枢都市圏の連携強化
- キ. 「富山市版スマートシティ」の実現に向けた取組
- ク. 歩きたくなるまちづくりの推進(再掲)
- ケ. 新産業の創出及び民間と協働した地域経営(再掲)

「第3期」(2025～2029年度の5年間)

「第3期」総合戦略

策定の方向性

- ・基本目標の維持
 - ・「第2期」総合戦略の進捗状況や社会生活の変化を勘案、本市の現状、課題を整理
- ⇒ **3つの「地域ビジョン」**
(目指すべきまちのすがた)とその実現に向けた**「重点的取組事項」**を位置付け

人口ビジョン改訂の方向性

- ・将来人口推計
- ・市民アンケート

人口の状況を分析

結婚・出産・進学・仕事等に関する意識を分析

目標人口を改めて設定

- 1 中長期
2040年に37万人
2070年に32万人
- 2 超長期
2100年以降も
30万人を維持

地域ビジョン(目指すべきまちのすがた)と実現に向けた重点的取組事項

地域ビジョン1:定常化/緩和/量【ひと】

ライフステージを通じた個人の希望の実現が、人口減少の緩和・定常化にツナガル。

【地域ビジョンの実現に向けた重点的取組事項】

- (1)若年世代の「実質所得の向上」や、女性が魅力と感じられる「雇用の創出・質の改善・発信」
- (2)結婚・妊娠・出産・子育て期の一貫した「伴走支援」や、社会全体で子育て・介護を支える「市民意識の共有」
- (3)個別アプローチにより、「関係人口」から、「二地域居住」、「移住」を促進

地域ビジョン2:強靱化/適応/質【しごと】

「人・地域への投資」と「企業の生産性向上」が、市民・地域・都市の「成長(生産性)」にツナガル。

【地域ビジョンの実現に向けた重点的取組事項】

- (1)地域と一体となった「良質な子育て・教育環境の構築」や、「共助」と多様な担い手による「地域コミュニティの再生」
- (2)行政課題・地域課題の解決を中堅・中小企業の「成長のエンジン」とすることによる「都市の持続可能性の向上」
- (3)中堅から中小企業へのDX、GXの面的展開や、多様な人材の多様な働き方による「労働生産性・炭素生産性の向上」と「人材不足の解消」

地域ビジョン3:幸せ日本一/潤い/心【まち】

「個人の多様な選択」と「都市の選択と集中」の両立が、「安心」と「潤い」の実感にツナガル。

【地域ビジョンの実現に向けた重点的取組事項】

- (1)市域のどこに住んでいても安全・安心で潤いを感じられる「地域防災力とレジリエンスの強化」
- (2)ファシリティマネジメントや「選択と集中」により持続可能性を高める「都市のリノベーション」
- (3)「日常の生活エリア」ごとの「身近な生活関連サービスの確保」と「交流・潤いの創出」

3 「第3期」富山市まち・ひと・しごと総合戦略の骨子(案)について

「第3期」総合戦略(2025年度～2029年度) 全体の概念図

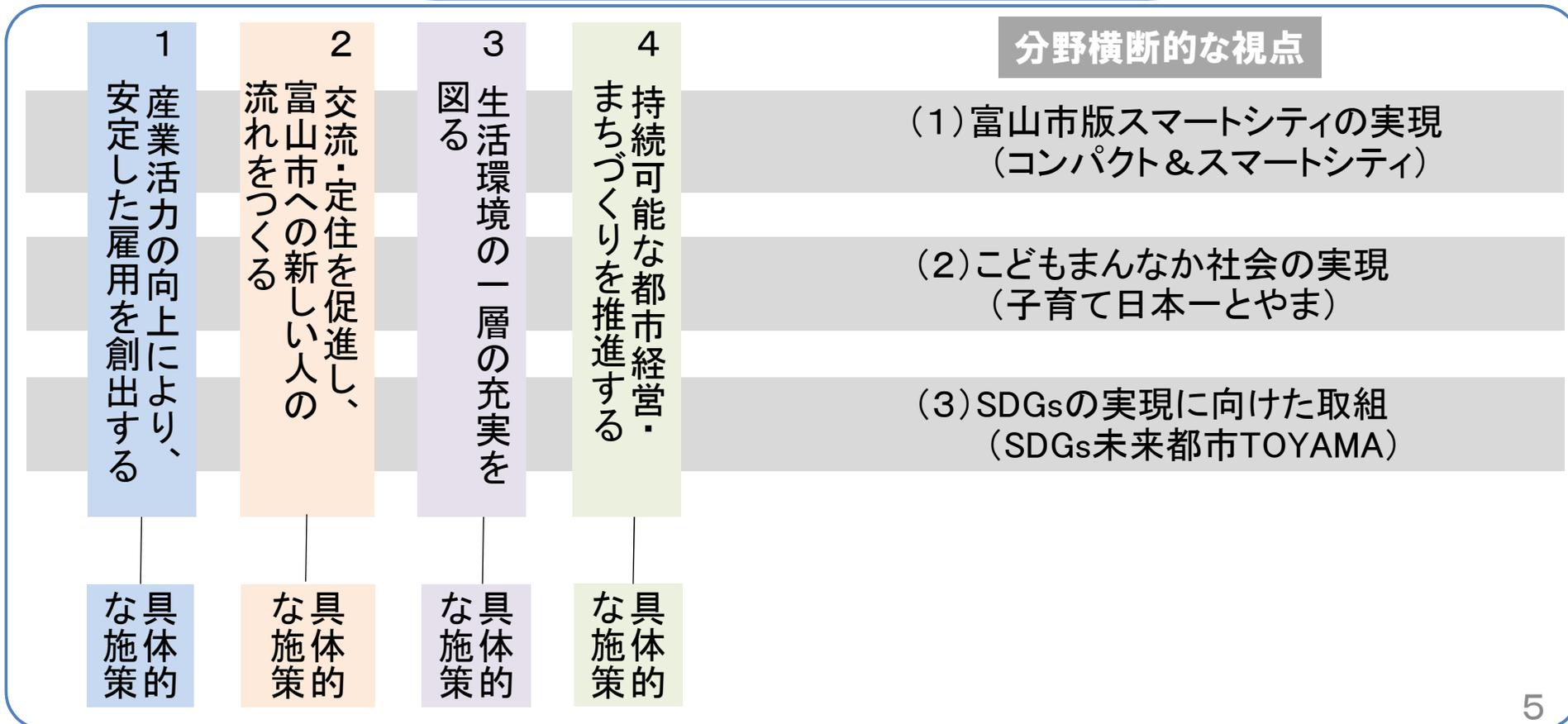
理念

コンパクトシティ政策の深化による、人口減少社会に適応する都市のリノベーションと、個人・企業の成長・潤いの実感

地域ビジョン

- 1 ライフステージを通じた個人の希望の実現が、人口減少の緩和・定常化にツナガル。
[定常化/緩和/量] 【ひと】
- 2 「人・地域への投資」と「企業の生産性向上」が、市民・地域・都市の「成長(生産性)」にツナガル。
[強靱化/適応/質] 【しごと】
- 3 「個人の多様な選択」と「都市の選択と集中」の両立が、「安心」と「潤い」の実感にツナガル。
[幸せ日本一/潤い/心] 【まち】

基本目標



施策

3 「第3期」富山市まち・ひと・しごと総合戦略の骨子(案)について

「第3期」総合戦略(2025年度～2029年度)

基本目標	数値目標	施策
<p>基本目標1</p> <p>産業活力の向上により、安定した雇用を創出する ～地方の中核を担う都市として躍動するまち～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●<u>経済構造実態調査における年間製造品出荷額等</u> ●富山市内における雇用保険被保険者数 ●富山市内における正社員の有効求人倍率 	<ul style="list-style-type: none"> (1)中小企業等の振興及び既存産業の高付加価値化 新(2)中小企業等のDX・GX促進による生産性向上【重点】 (3)公民連携による地域経営と新たなビジネス機会の創出【重点】 (4)農林水産業の成長産業化 (5)サービス産業の活性化 (6)多様な人材の多様な働き方によるマッチングの強化【重点】 新(7)若年世代の実質所得の向上 新(8)若者や女性にとって魅力的な雇用の創出(企業・オフィス誘致促進を含む)【重点】 新(9)若者や女性に選ばれる雇用環境の整備 新(10)若者や女性に向けた雇用情報の発信強化 (11)高等学校・大学等との連携強化
<p>基本目標2</p> <p>交流・定住を促進し、富山市への新しい人の流れをつくる～選ばれるまち～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●人口の社会増〔転入-転出〕 ●マルチハビテーションの推進 ●交流人口(観光客入込数) ●県内大学卒業生の県内就職率 ●県内高校出身の県外大学生のUターン就職率 	<ul style="list-style-type: none"> (1)関係人口へのアプローチによる二地域居住や移住の推進【重点】 (2)広域型観光の推進と外国人観光客の誘致 (3)地域資源のブラッシュアップによる高付加価値化 (4)大学・高等学校等との連携強化(再掲) (5)シティプロモーションの推進 (6)シビックプライドの醸成
<p>基本目標3</p> <p>生活環境の一層の充実を図る ～すべての世代が安心して暮らせるまち～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●合計特殊出生率 ●現在の健康状態について健康であると感じている市民の割合 ●健康な高齢者の割合(65歳以上の高齢者で、介護保険の要支援・要介護認定を受けていない人の割合) ●保育ニーズの充足 新●<u>妊娠・出産における指導・ケアについて満足している者の割合</u> 新●<u>子どもを産み育てることを考えるセミナー参加企業数</u> 新●<u>町内会加入率</u> 新●<u>公民館利用者数</u> 	<ul style="list-style-type: none"> (1)妊娠・出産・子育て期の一貫した支援の充実【重点】 (2)ワークライフ・バランスの実現 (3)総合的な生活支援サービスの提供 (4)健康都市の実現 (5)歩きたくなるまちづくりの推進 新(6)地域とともに子育て・教育に取り組む環境づくり 新(7)社会全体で子育て・介護を支える市民意識の醸成 新(8)「共助」と多様な担い手による地域コミュニティの活性化【重点】 (9)地域防災力と地域レジリエンスの強化
<p>基本目標4</p> <p>持続可能な都市経営・まちづくりを推進する ～公共交通を軸としたコンパクトなまち～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●沿線居住(公共交通が便利な地域に住む)人口の割合 ●中心市街地における人口の社会増〔転入-転出〕 ●<u>公共交通が便利な地域周辺に住んでいる市民の公共交通利用率</u> ●富山駅周辺地区の歩行者数 ●<u>中心商業地区の歩行者数</u> ●<u>温室効果ガス排出量の削減割合</u> 	<ul style="list-style-type: none"> (1)公共交通と中心市街地の活性化 (2)中心市街地と公共交通沿線居住推進地区への居住誘導 新(3)「<u>日常生活エリア</u>」における拠点の形成と交流・潤いの創出【重点】 (4)既存施設のマネジメント強化 (5)連携中枢都市圏の連携強化 (6)歩きたくなるまちづくりの推進(再掲) (7)公民連携による地域経営と新ビジネスの機会創出(再掲)